

「幼な妻紫ちゃんと甘々ラブラブ夫婦生活」

// 「幼な妻紫ちゃんと甘々ラブラブ夫婦生活」台本

// ※ダミーヘッド位置指定は直前のものに準じます

//

//00. タイトルコール

//

// ※ダミーヘッド位置指定は直前のものに準じます

//ダミーヘッド位置・1

// 「幼な妻紫ちゃんと」までは可愛らしく普通に読んで

// 「甘々ラブラブ夫婦生活」は囁くような感じをお願いします。

Yu10001

「幼な妻紫ちゃんと甘々ラブラブ夫婦生活」

//

//01. 玄関先で出迎え

//

//SE:廊下を小走り（トット……）

//ダミーヘッド位置・6 離れた位置から近付く

Yu10002

「おかえりなさい、パパ」

//ダミーヘッド位置・1

Yu10003

「今日も一日、お仕事お疲れ様。」

Yu10004

「パパお疲れみたい……お仕事が大変だった？ お仕事の疲れを、私が癒してあげたいよ……」

Yu10005

「ん？ ママをぎゅーってしたら、それで疲れが取れちゃうの？」

Yu10006

「ふふふ、じゃあ、パパの疲れが早く取れちゃうように、ママのこゝぎゅーってして欲しいな……」

//SE:紫に抱きついた音

紫

//ダミーヘッド位置・１ 顔の近くで囁く

Yu10007

「あん……うふふ、パパの顔が胸に当って、ちよっとくすぐったいかも……」

//ダミーヘッド位置・１ 少し感じるように

Yu10008

「ママの胸って柔らかい？ ああん、そんなに押し付けたら、変な声が出ちゃうよ？」

//ダミーヘッド位置・１ 顔の近くで囁く

Yu10009

「あん、くすぐりたい……あふ……私の匂いで幸せな気持ちになっちゃうの？ うふふ、ママと一緒にだね……」

Yu10010

「なんだかドキドキしてきちゃった……私の胸の音、聞こえる？ もっと聞いて欲しいな……」

//ダミーヘッド位置・１ 心配そうに

Yu10011

「ふあ……今日はいつもより、ぎゅーってしてくれるんだね。ママは嬉しいけど、パパは会社で何か嫌なことでもあったの？」

Yu10012

「パパのことだったら、なんでも分かっちゃうよ？ だって大好きなんだもん」

Yu10013

「パパだってママのこと、何だって分かっちゃうでしょ？」

//ダミーヘッド位置・１

Yu10014

「もっともっと、私をぎゅーってして、いっぱい元気になってね？」

Yu10015

「他にも、どうしたらパパを元気にしてあげられるかな……？」

紫

//ダミーヘッド位置・3

Yu10016

「あ、そうだ……えへへ、パパをよしよし、してあげたいなあ……
…パパのこと、いっぱい抱き締めさせてね……（優しく抱き締める）」

//ダミーヘッド位置・1

Yu10017

「よしよし、よしよし……嫌なことは忘れて、早く元気になっちゃおうね？ ママからのお願いだよ……」

//ダミーヘッド位置・7 耳元で囁き

Yu10018

「パパは毎日、一生懸命にお仕事頑張ってるもんね。私はちゃんと知ってるよ？」

//ダミーヘッド位置・7 耳元で囁き

Yu10019

「うんうん、そうなんだ……パパのせいじゃないのに、叱られちゃったんだね……」

//ダミーヘッド位置・7

Yu10020

「そんなの気にしなくてもいいよ。そんなことを言う人は、ママがメッ！ってしてあげるからね？」

Yu10021

「本当だよ？ だって私、パパの為だったら何でも出来ちゃうんだから」

Yu10022

「だから、パパは安心していいんだよ？」

//ダミーヘッド位置・3

Yu10023

「え？ もういいの？ もう満足しちゃったの？」

//ダミーヘッド位置・3 耳元で囁き

紫

Yu10024
「うー、私はこのままずっと、パパのことぎゅーってしていたん
だけだなあ……」

//ダミーヘッド位置・3

紫

Yu10025
「えへへ……パパにぎゅーってされるのも好きだよ？ うふふ…
…だって、パパのこといっぱい感じられるから」

紫

Yu10026
「ふふ……そうなんだ、もう元気になれたんだね。よかった……
うふふ」

//SE:衣擦れの音

//ダミーヘッド位置・7 顔を離して

紫

Yu10027
「えへへ、本当に今日も一日、ご苦勞様。それじゃあ、一緒に「
飯食べようね？」

//終了

// 楠木紫 ボイスドラマ 台本

//※ダミーヘッド位置指定は直前のものに準じます

//-----

//02. 部屋で膝枕

//-----

//※紫は床座り中

//ダミーヘッド位置・9 離れた位置でやや下から

Yu10028

「あ、おかえりなさい、パパ。今ね、テレビを見てたところな
の」

//SE:主人公が紫の隣に座る音

//ダミーヘッド位置・1

紫

Yu10029
「すぐに「ご飯にする？ それともお風呂？」

紫

Yu10030
「その前にちょっと休憩するの？　じゃあ、ママの横に座って、一緒にテレビ見ようね」

紫

Yu10031
「ん？　膝枕して欲しいの？　うん、いいよ。じゃあ……（SE:膝を叩く音）……はい、どうぞ」

//主人公が寝転がって膝に頭を置く　//SE:衣擦れの音

//ダミーヘッド位置・7　耳元で囁く

紫

Yu10032
「うふふ……ママの太股の感触はどうか？　気持ちいい？」

//ダミーヘッド位置・7

紫

Yu10033
「私の足も触つてると気持ちいいの？　じゃあ、いっぱい撫で撫でして、気持ちよくなって」

//ダミーヘッド位置・7　耳元で囁く

紫

Yu10034
「私も一緒にパパのこと、いい子、いい子しちゃうね？」

紫

Yu10035
「よしよし、よしよし……今日もお仕事お疲れさま……」

紫

Yu10036
「うふふ、パパの髪って柔らかくて、触つてると気持ちいいね」

//ダミーヘッド位置・7　くすぐったさ+感じてる

紫

Yu10037
「あん、太股の上でもぞもぞしちゃダメだよ？　くすぐったくなっちゃうんだから」

//ダミーヘッド位置・7

紫

Yu10038
「もー、悪戯ばっかりして……パパったら、子供みたいだよ。」

//ダミーヘッド位置・7

紫

Yu10039
「えへへ……私もパパに悪戯しちゃおうかなあ……ほっぺを……
つんつん、(SE:主人公がくすぐったがる衣擦れの音) うふふ、
くすぐったいでしょ?」

//主人公が頭の位置を変える SE:衣擦れの音

//ダミーヘッド位置・1

紫

Yu10040
「あ、逃げちゃダメだよー……あん……どうしたの、急に頭の向きを変えて?」

紫

Yu10041
「今度はママのお顔が見たくなっちゃった? わたしもパパのお顔が見れて嬉しいな、うふふ」

//ダミーヘッド位置・1 後半、顔を近付けて囁く

紫

Yu10042
「なんだかパパの顔、ちょっと赤くなってる? ママに見つめられて照れちゃった?」

//ダミーヘッド位置・3

紫

Yu10043
「あ……今度はそっち向いちやうの? パパのお顔が見られなくて、ママ寂しいなあ……」

//ちよつと注意する感じ

紫

Yu10044
「ん……パパ……そんなところに顔を押し付けて、エッチなこと考えてない?」

//ダミーヘッド位置・3 耳元で囁く

紫

Yu10045
「……ふふ、そんなにママに甘えたかった? うん、ママにいいっぱい甘えてね?」

//ダミーヘッド位置・3 優しく語りかける

紫

Yu10046
「よしよし、いい子、いい子……ふふ、えへへ……よしよし……
いい子、いい子……」

紫

Yu10047
「えへへ……パパったら本当に大きな子供みたい、パパ。今日ママにいっぱい甘えるなんて、そんなに寂しかったんだ……」

//ダミーヘッド位置・3

紫

Yu10048
「うふふ……よしよし、いい子、いい子……よしよし、いい子、
いい子……よしよし、いい子、いい子……よしよし、いい子、
いい子……」

//ダミーヘッド位置・3 耳元で囁く

紫

Yu10049
「よしよし……ん？ もう元気だったの？ ママのお膝で満足しちゃった？」

//SE:主人公が体を起こす

//ダミーヘッド位置・1

紫

Yu10050
「じゃあ、ご飯の支度するから、パパはお着替えしてきてね？」

//ダミーヘッド位置・6 少し離れかけて立ち止まり

紫

Yu10051
「あ、そっだ……」

//ダミーヘッド位置・1 再び近付いて目の前で囁く

紫

Yu10052
「（キス音）……ふふ、これでもっと元気出たでしょ？」

//SE:衣擦れの音

紫

Yu10053
「あん……ダーメ、続きはまた後でね♪」

//終了

//-----

//03.耳かき

	<p>// ※ダミーヘッド位置指定は直前のものに準じます // ダミーヘッド位置・9→へ近付いてくる</p>	<p>Yu10054 「（鼻歌交じり）どうしたのパパ？ 今日も膝枕して欲しい？ えへへ、ママに甘えなくなっちゃったんだ、うふふ」 // ダミーヘッド位置・1</p>	<p>Yu10055 「じゃあ、いっしょにお耳を綺麗にしちゃおうか？ ママが耳か きしてあげるね」 // 紫が座ろうとする音</p>	<p>Yu10056 「は〜い、どうぞ……（SE: ひざをポンポン）。最初は左のお耳か らね？」 // ダミーヘッド位置・7 // SE: 主人公がこそこそしながら頭を乗せる // 子供に言い聞かせるように</p>	<p>Yu10057 「は〜い、ママがキレイ、キレイしてあげますからね〜」 // ダミーヘッド位置・7 耳元で囁く</p>	<p>Yu10058 「まずはパパのお耳を、両手で優しく……こうして、マッサージ してあげるね……ふふ……」 // ダミーヘッド位置・7</p>	<p>Yu10059 「うんしょ……うんしょ……えへへ、お耳をマッサージすると ね、自律神経の乱れを整えられるんだって……あと、肩こりに も効くらしいよ？」 // ダミーヘッド位置・7 どうかな？から耳元で囁く</p>	<p>Yu10060 「……うん、テレビでやってたの。だから、パパにしてあげたい なーって……どうかな？ 気持ちいい？」</p>
--	--	--	--	---	---	--	---	--

紫

//ダミーヘッド位置・7

Yu10061

「えへへ、もっとしてあげちゃうねえ……もみもみ、もみもみ……もっとママの声が良く聞こえるように……うふふ」

紫

Yu10062

「呼吸音（二分）」

紫

Yu10063

「ふう、じゃあ、そろそろお耳の中を掃除するね？」

//ダミーヘッド位置・7 耳元で囁く

紫

Yu10064

「最初はね……お耳の中をふーって吹いちゃうよお……」

紫

Yu10065

「ふー、ふー、と吐息を吹きかける（5秒）」

//ダミーヘッド位置・7

紫

Yu10066

「うふふ、くすぐったかった？ 最初にこうしておくと、お耳を綺麗にしやすんだって」

//ダミーヘッド位置・7 後半、囁きながら少しエッチな感じに

紫

Yu10067

「えへへ、大丈夫だよ、優しくするから。うふふ……いつもパパが、ママにしてくれてるみたいだね……ふふ」

///ダミーヘッド位置・7

紫

Yu10068

「じゃあ、するね……動いちゃダメだよ？ じっとしててね……」

//最初は入り口の方をの後ろからss耳かき効果音

//後半部分は意味深な感じで

紫

Yu10069

「最初は入り口の方を……うふふ、ちよつとずつ奥に入れていくからね……」

//se耳かき効果音

//細かい作業をしている感じ

Yu10070
「（呼吸音）×4」

Yu10071
「うん……パパのお耳は、あんまり汚れてないね……でも油断しちゃダメだよ？」

//se耳かき効果音

Yu10072
「紫の呼吸音（2分）」

//se耳かき効果音

//細かい作業をしている感じ

Yu10073
「あ……大きいのがあったよ、パパ……ママが取ってあげるね……
…うん、取れたよ……ほら」

//se耳かき効果音

Yu10074
「呼吸音（1分）」

//se耳かき効果音

Yu10075
「ふふふ、耳かき気持ちいいの？ えへへ、力が抜けてちゃって
るみたいだね……」

//se耳かき効果音

Yu10076
「紫の呼吸音（2分）」

Yu10077
「はーい、仕上げは梵天で綺麗にしてあげるね……耳かきの後に
ある、ほら……このフワフワしたやつだよ？」

///ダミーヘッド位置・7 耳元で囁く

紫

Yu10078
「じょじょ……こしょこしょ……うふふ、パパくすぐったそ
う、えへへ……かわいい」

紫

Yu10079
「じうしておくと、サッパリして気持ちいいんだよ？ だから、
くすぐったくても我慢、我慢……こしょこしょ……」

//タミーヘッド位置・7 くすぐったそうに

紫

Yu10080
「あん、わざとくすぐってないよ。だからパパも、ママのこと
くすぐっちゃダメえ」

紫

Yu10081
「はい、じっとして……ちゃんと綺麗にしてるよ？ うふふ……
はい、お終い」

紫

Yu10082
「じゃあ、最後もまたふーってしてあげるね……」

紫

Yu10083
「ふー、ふー、と吐息を吹きかける(5秒)」

紫

Yu10084
「ふふ……ふーってすると、パパのお耳がピクピクってして、
とっても可愛い……」

紫

Yu10085
「はい、左のお耳は綺麗になったよ♪ 今度は反対を向いてね、
パパ」

//SE：主人公がゴソゴソと体の向きを変えている

//タミーヘッド位置・3

紫

Yu10086
「じうちのお耳はどうかかなー？」

紫

Yu10087
「それじゃあ、まずはこっちのお耳もマッサージしてあげる
ね？」

紫	紫	紫	紫	紫	紫	紫	紫	紫	紫
<hr/>									
									//ダミーヘッド位置・㍿ どうか、から囁くように
								Yu10088	「もみもみ……もみもみ……どうか？ 気持ちいい……？」
								Yu10089	「……パパのお耳って、小さくて可愛いよね……ふふ」
								Yu10090	「呼吸音（二分）」
								Yu10091	「あ、お耳が温かくなってきた……えへ……そろそろいいかな？ じゃあ、中を綺麗にするね……？」
								Yu10092	「大丈夫だよ、くすぐったくしないから……ふふ、また悪戯しないのー」
								//ダミーヘッド位置・㍿ だから、から囁くように	
								Yu10093	「耳かきしてる時にママのお膝を撫で撫でしてたら、危ないでしょ？ だから、じっとしててね……？」
								Yu10094	「うふふ、いい子だね、パパ♪ どれどれ……」
								//se耳かき効果音	
								Yu10095	「呼吸音（2分）」
								Yu10096	「んー……あった、あった……もうちょっとだから……じっとしてて……うん、取れたよー」
								//se耳かき効果音	
								//細かい作業をしている感じ	
								Yu10097	「（呼吸音）×4」

紫

Yu10098
「他には無いか？ 奥の方までちゃんど、見てあげるからね
……」

//se耳かき効果音

紫

Yu10099
「紫の呼吸音（3分）」

紫

Yu10100
「……うん、もう大丈夫みたい。綺麗になったよ、パパ」

紫

Yu10101
「じゃあ、こっちも梵天で綺麗にしてあげるね……こしょこ
しょ、こしょこしょ……うふふ、くすぐったくても我慢して
ね？」

紫

Yu10102
「慣れると気持ちいいでしょ？ くすぐす……くすぐったいのを
我慢してるの？ パパって可愛い……」

紫

Yu10103
「もう少して終わるから、あとちょっと我慢してね……こしょこ
しょ……こしょこしょ……」

紫

Yu10104
「はい、綺麗になりました♪ じゃあ、こっちのお耳も最後は
ふーってしてあげるね……」

紫

Yu10105
「ふー、ふー、と吐息を吹きかける（5秒）」

//タミーヘッド位置・ω なら、から悪戯っぽく囁くように

紫

Yu10106
「うふふ、そんなにくすぐったいの？ なら、もっとしちゃおう
かなあ……ふー……ふー……ふー……ふー……」

//タミーヘッド位置・ω 最初は少し感じた様子で

紫

Yu10107
「あんっ……ダメだよ、パパ……エッチないたずらしちゃ、うふふ……」

紫

Yu10108
「はい、耳かきはおしまい。どうかな？ お耳はサッパリした？」

紫

Yu10109
「ふふ、よかった……そんなに気持ちよかったの？ じゃあ、またしてあげるね、うふふ……」

紫

Yu10110
「え？ もう耳かきは終わったけど、このまま膝枕を続けて欲しいの？ もー……パパったら、甘えん坊さんだから……」

紫

Yu10111
「ママもパパのこと、もうちょっと膝枕していたいかな……うふふ……」

紫

Yu10112
「えへへ……なんだか幸せだね、こういうのって……ん？ パパもそう感じてたの？ うふふ、一緒だね……（キス音）」

紫

Yu10113
「もう少し、こうしていいよね……」

//終了

//-----

//04.フヘラ

//-----

//※ダミーヘッド位置指定は直前のものに準じます

//ダミーヘッド位置・二 寝起き

紫

Yu10114
「んー……ふああ………パパはまだ寝てる……？」

//ダミーヘッド位置・2

紫

Yu10115
「うふふ……気持ち良さそうな寝顔……えへへ、なにか夢を見てるのかな……？」

紫

Yu10116
「（呼吸音）×4」

//SE衣擦れの音

//ダミーヘッド位置・1

紫

Yu10117
「あ、おはよう、パパ……目が覚めちゃった……？ うふふ、パパの寝顔を見てたの」

紫

Yu10118
「ん？ もう起きちゃう？ まだゆっくりしてても大丈夫だよ」

紫

Yu10119
「じゃあ、おはようのチューね……ん……（キス音）……うふふ」

紫

Yu10120
「どうしたの、パパ？ ママの手を取って……あ……いつの間にこんなに……」

//ダミーヘッド位置・3 恥ずかしそうに

紫

Yu10121
「パパのおちんちん、朝からすごく元気だね……パジャマの上からでも分かるよ……」

//SE衣擦れの音

//ダミーヘッド位置・1 吐息混じり

紫

Yu10122
「ん……ダメだよ、パパ……朝からエッチしてたら……んん……お仕事、遅れちゃう……から……あん……」

//ダミーヘッド位置・1 感じながら

紫

Yu10123
「あん、ダメって……言ってる、のに……んっ……どこ触ってるの、パパあ……」

紫

//ダミーヘッド位置・1 子供に言い聞かせるように

Yu10124

「もー……だーめ。だってパパとエッチしたら……ママだって、朝ご飯の支度とか出来なくなっちゃうから……」

//ダミーヘッド位置・1 少し悲しそうに

Yu10125

「うう……そんなに寂しそうな顔しないで……わたしまで悲しくなってきちゃうよ……」

//ダミーヘッド位置・1 じゃあ、からへ移動、耳元で囁く

Yu10126

「もう、仕方ないなあ……じゃあ、パパの元気になっちゃったおちんちん……気持ち良くしてあげるね……？」

//ダミーヘッド位置・3

Yu10127

「ママのお手々がいい？ それともお口……？ うふふ、お口でして欲しいの……？」

//ダミーヘッド位置・3 耳元で囁く

Yu10128

「うん、いいよ……じゃあ、ママのお口でパパのおちんちん気持ち良くしてあげるね……」

//足元の方に動きつつ、パジャマとパンツを脱がす衣擦れ

//※以降、フェラ中はやや下側、少し離れた位置になります

//ダミーヘッド位置・1 フェラ中

Yu10129

「あん……すごい、飛び出して来ちゃった……パパの朝から元気なおちんちん……」

//ダミーヘッド位置・1

Yu10130

「ふふ、さっきからビク、ビクってしてる……期待してるの……？ じゃあ……」

//ダミーヘッド位置・1 フェラ中、吐息吹きかけ

紫

Yu10131
「ふー……ふー……だって、パパのおちんちん、熱々なんでもん
……」うやって冷ましてあげないと……お口が火傷しちゃう
よ。」

紫

Yu10132
「ふふ……最初は、先っぽのところにキス……してあげるね……
(キス音5秒)」

紫

Yu10133
「ん……もっと固くになってきちゃったね…… (キス音5秒) ……
エッチなお汁も出てきたよ、パパ……」

紫

Yu10134
「(舌で舐め回す音) ……ふふ、ちょっとしよっぱいかな……？
(キス音5秒) ……あふ……」

紫

Yu10135
「こうやって顔を近付けて見ると、やっぱりパパのおちんちんっ
て……おっきいね……」

紫

Yu10136
「こんなにおっきなので、いつもママのこと…… (キス音) ……
気持ち良くてくれるんだね、パパ……」

紫

Yu10137
「そうだ、こっちもちゃんと気持ち良くしてあげるね……？ 大
切なパパの精子を作ってくれる、タマタマもね……」

紫

Yu10138
「優しく、優しく……手で揉み揉みしてあげてから…… (軽く吸
い付く音) ……お口でも気持ち良くしてあげる…… (舐め音10
秒)」

// ダミーヘッド位置・フェラ中、金玉責め

紫

Yu10139
「ちゅう…… (舐め音10秒) ……この中に……ん……パパの精子
が、いっぱいなんだね……」

紫

Yu10140
「すごいね、もうパンパン……（舐め音5秒）……早く出させてあげるからね……ちゅ……」

//タミーヘッド位置・一 フェラ中、裏筋舐め

紫

Yu10141
「次はね、根元の方から……ん……こうして、舌の先で舐めるよ……（舐め上げ音）」

紫

Yu10142
「ん……舐めている間も、先っぽを指で優しく揉むと、気持ちいいでしょ……？ ふふ……（舐め上げ音）」

//タミーヘッド位置・一 フェラ中

紫

Yu10143
「それから……先っぽの、お汁を舌で舐めて……（れろれろ舐める）……舌でくすぐるように……（れろれろ舐める）」

紫

Yu10144
「広がった笠みたいなどこも……ん……（舐め音5秒）……舐められてピクンピクンと動いてる……うふふ……気持ちいいんだね……ㇿ」

//タミーヘッド位置・一 フェラ中 おしゃぶり、から」 耳元で囁く

紫

Yu10145
「すごいね、パパのおちんちん……まだまだ硬くなるよ……じゃあ、そろそろ……お口の中でしてあげるのね……」

//タミーヘッド位置・一 フェラ中、ペニスを啜っていく

紫

Yu10146
「はむ……んん、むぐ……（ゆっくりめのフェラ音10秒）」

紫

Yu10147
「ちゅぱあ……おっきいから、お口からはみ出ちゃいそう……ふふ、あむ……んぐ……」

紫

Yu10148
「（ゆっくりしゃぶるフェラ音10秒）……んふう……」

紫	紫	紫	紫	紫	紫	紫	紫
<hr/>							
							//ダミーヘッド位置・一 フェラ中
							Yu10149 「(少し勢いを増したフェラ音二秒) ……ちゅばあ……エッチな
							お汁がいっぱい……ん……はむ…… (咥え直す)」
							//ダミーヘッド位置・一 フェラ中、咥えながら
							Yu10150 「ちゅるう……お口の中で、舌でねぶねぶすると……ん……パパ
							のおちんちんが、嬉しそうに動いてる……」
							Yu10151 「もっと気持ち良くなって、パパ…… (少し勢いを増したフェラ
							音二秒) ……浮き上がった血管も、舌で擦ってあげる……」
							//ダミーヘッド位置・一 フェラ中、フェラ音混じりに
							Yu10152 「お口の中で、おちんちんが、どんどん硬くなってるよ、パパ……
							…少し勢いを増したフェラ音二秒)」
							//ダミーヘッド位置・一 一度、口から離す
							Yu10153 「ぶはあ……そろそろ出ちゃう……？ いいよ、パパの好きなと
							きに、いつでも出していいからね…… (キス音)」
							//ダミーヘッド位置・一 フェラ中、咥え直す
							Yu10154 「はむ…… (激しめのフェラ音二秒)」
							//ダミーヘッド位置・一 咥えたまましゃべる
							Yu10155 「ぶふっ、んんっ……パパのおちんちん、もう弾けちゃいそうだ
							よ……！ (激しめのフェラ音二秒)」
							//SE 射精音
							//ダミーヘッド位置・一 射精を口で受け止める
							Yu10156 「んんっ、んぶっ……！ んふうっ……！」
							//ダミーヘッド位置・一 精液を飲む

紫

Yu10157
「んぐ……んぐ、んぐ……ちゅる……んぐ、んぐ……んぐん…
…」

紫

Yu10158
「ふはあ……はー……はー……いっぱい出たね……パパの精液つ
て、すごく濃いから……飲むの大変……ふふ……」

紫

Yu10159
「えへへ……まだ終わってないよ……ちゃんと、綺麗にするから
ね……（キス音）……（舐めフェラ音5秒）」

紫

Yu10160
「ん……まだ精液残ってるかな……（吸い出す音）……んぐ……
んふ……（舐めフェラ音5秒）……んはあ……」

//ダミーヘッド位置・3 耳元で囁く

紫

Yu10161
「どうかな？ これでスッキリした……？ ママのお口は気持ち
よかった……？」

//ダミーヘッド位置・3 耳元で囁く

紫

Yu10162
「朝からおちんちん気持ち良く出来て、幸せ……」

//ダミーヘッド位置・3

紫

Yu10163
「ふふ……私をこんなにエッチにしたのは、パパなんだよ……？
いろんなこと、教えてくれたんだもん……ね？」

//ダミーヘッド位置・1 少し照れつつ

紫

Yu10164
「もちろん、私も……パパのためにとって、がんばったけど……
だって、喜んでもらいたいし気持ち良くしてあげたいもん…
…」

紫

Yu10165
「すごく良かった？ うふふ、それならよかった……これで今日
もお仕事、頑張れるね。じゃあ、朝ご飯の支度するから、パパ
はお顔洗ってきてね♪」

//終了

//-----

//05.キス↓耳舐め

//-----

//※ダミーヘッド位置指定は直前のものに準じます

//ダミーヘッド位置・1 近付きつつ

Yu10166
「パパ……お膝の上に座ってもいい……？」

Yu10167
「えへへ……こうしていると、お顔が近いね……ちょっと照れちゃ
うよ……？」

//ダミーヘッド位置・1 唇を触れさせるキス

Yu10168
「パパ……可愛い……（キス音）……ふふ……（キス音5秒）」

Yu10169
「うふふ……ほっぺが赤いね、パパ……？ ねえ……もっとキス
して……？」

//ダミーヘッド位置・1 唇を触れさせるキス

Yu10170
「（キス音5秒）……ふあ……パパ……大好き……（キス音）……
…」

//ダミーヘッド位置・1 唇を触れさせるキス

Yu10171
「ん……（キス音5秒）……気持ちいいよね……」

//ダミーヘッド位置・1 唇を触れさせるキス

紫

Yu10172
「唇だけじゃなくて……ほっぺにも……（キス音）……お鼻にも……（キス音）……瞼にも……（キス音）」

紫

Yu10173
「いっぱい、いっぱい……キスしたいの……もっとチューしよお、パパ……」

//ダミーヘッド位置・ー唇を触れさせるキス

紫

Yu10174
「うふふ……大好き……（キス音5秒）……ん……パパの舌も欲しいよ……」

//ダミーヘッド位置・ーディープキスへ

紫

Yu10175
「ねぶう……（ディープキス10秒）……ふはぁ……うふふ……ドキドキしてきちゃう……」

//SE：衣擦れの音

紫

Yu10176
「ほら、パパにも伝わってるでしょ……？ ママの心臓が、ドキドキしてるのが……あふ……」

//ダミーヘッド位置・ーディープキス

紫

Yu10177
「（ディープキス10秒）……ふぁぁ……唇も舌も、とろけてきちゃう……パパぁ……」

紫

Yu10178
「舌に唾液を乗せて……んく……（ディープキス5秒）……く………パパの唾液、飲んじゃうね……」

//ダミーヘッド位置・ーディープキス

紫

Yu10179
「くく……ふぁぁ……もっと……もっと舌を絡ませて、パパぁ……（ディープキス10秒）」

紫

Yu10180
「ふぁ……頭の中まで、とろけてきちゃう……」

紫

Yu10181
「うふふ……ねえ……キス……気持ちよかった……？ 私はずつ
ごく気持ち良くて、頭の中までフワフワしちゃってるの……
パパは……？」

//ダミーヘッド位置・2 紫が左耳を舐められている

紫

Yu10182
「ひゃあんっ……くすぐったいよお……あん……いきなり……ん
ん……お耳、舐めちゃダメえ……」

//ダミーヘッド位置・8 紫が左耳を舐められている

紫

Yu10183
「ああん、反対側のお耳も……んんっ……そんなに、舐めちゃう
なんて……ひゃうっ……！」

紫

Yu10184
「く、くすぐったくて……ゾクゾクしちゃうよお……ああっ……
パパあ……も……！」

//ダミーヘッド位置・3 耳元で囁く

紫

Yu10185
「今度はママの番だもん……お返しに、パパのお耳も……い……
……っばい、舐めちゃうんだからあ……」

//右耳舐め

//右耳側に移動している（ゴソゴソ）

//ダミーヘッド位置・5 以降、耳元で囁く

紫

Yu10186
「最初は……こっちのお耳……（耳にキス音）……ふふふ、ほ
らあ……くすぐったいでしょ……？」

紫

Yu10187
「でも、許してあげないの……ふふ……さっきのお返しだよ……
ほら、じっとしててね……（耳にキス音5秒）……」

紫

Yu10188
「えへへ……パパのお耳って、いつ見ても可愛い……（耳にキス音）……いろいろしてあげたくなっちゃう……（耳にキス音）……」

//ダミーヘッド位置・㊦ 吐息を吹きかけてから舐める

紫

Yu10189
「ふー……ふー……ふふ、くすぐったいと、首がビクってなるんだよね……（耳にキス音）……（耳舐め音10秒）」

紫

Yu10190
「うふふ……パパのお耳の形に合わせてね、舐めてるんだよ……（耳にキス音）……耳の後ろまで、しっかり舐めちゃう……（舐め音10秒）」

//ダミーヘッド位置・㊦ 耳たぶ啜え

紫

Yu10191
「ふふ……パパの耳たぶって、柔らかくて美味しそう……はむ（耳啜え）……はむはむ……ねぶ……」

紫

Yu10192
「他のところも……ねぶ……啜えて、舐めるね……（耳しゃぶり音10秒）」

紫

Yu10193
「ふはあ……パパの体が震えてる……うふふ、お耳で感じちゃってる……？（耳にキス音）……ゾクゾクしちゃうの……？」

紫

Yu10194
「（耳しゃぶり音10秒）なんだかお耳が赤くなってきたよ……？お耳を舐められると、恥ずかしくなっちゃうの……？」

紫

Yu10195
「（耳にキス音5）……お耳が火照ってるんだね、熱いよ……（耳にキス音5）……」

紫

Yu10196
「くすぐったいのは、少し慣れてきた……？ じゃあ、こういうのはどうかな……お耳のいろんなところを、甘噛みするね……」

紫

Yu10197 「はむはむ……（甘噛み音5秒）……耳たぶだけじゃないの……お
耳の全部を、甘噛みしちゃうよ……」

//ダミーヘッド位置・3 耳元で囁く

紫

Yu10198 「気持ち良さそうだね、パパ……さっきから、声が出ちゃってる
……?」

紫

Yu10199 「うふふ……もっともーっとしてあげちゃうの……（甘噛み音5
秒）……んふ……このまま……（耳たぶしゃぶり5秒）」

紫

Yu10200 「ふぁ……えへへ……気持ちよかった……?」
//ダミーヘッド位置・3 耳元で囁く

紫

Yu10201 「ふふ……でもまだまだ、終わらないよ……? 次は……お耳の
中まで、舐めちゃうね……」

//ダミーヘッド位置・3 耳の中まで舐める

紫

Yu10202 「ん……（耳の中舐め音5秒）……しっかり奥まで、舌を入れて…
…ん……（耳の中舐め音10秒）」

紫

Yu10203 「んはぁ……パパのお耳だもん、汚くなんてないよ……? それ
に、とっても美味しいの……あふ……」

紫

Yu10204 「（耳の中舐め音10秒）」

紫

Yu10205 「あふ……もっと、ぎゅってしてないと……パパのお耳の奥、舐
められないよお……」

//ダミーヘッド位置・3 耳元で囁く

紫

Yu10206
「お耳舐められて、興奮してるの……？ ママと一緒にだね、パパ
……もっと気持ちよくなるように舐め舐めしちゃうね……」

紫

Yu10207
「(耳の中舐め音10秒)」

//ダミーヘッド位置・3 耳元で囁く

紫

Yu10208
「あふ……パパのお耳、ママの唾液でベトベトになっちゃってる
の……なんだかエッチ……」

紫

Yu10209
「ふふ……パパあ……ママに硬いのが当たってるよ……そんなに気
持ち良かったの……？」

//ダミーヘッド位置・3 耳元で囁く

紫

Yu10210
「(耳にキス音)……だって……おちんちん、おおきくなってる
よ……そんなにエッチな気分になっちゃったの……？ うふふ
……」

紫

Yu10211
「(耳の中舐め音10秒)」

//ダミーヘッド位置・3 耳元で囁く

紫

Yu10212
「ちゅばあ……んふ、手をぎゅってして……どうしたの？ ママ
のこと押し倒さないように、我慢してるの……？」

紫

Yu10213
「うふふ、パパ可愛い……大好き……(耳の中舐め音10秒) ……
…」

//ダミーヘッド位置・3 耳元で囁く

紫

Yu10214
「ぐうして我慢してるの……？ ママにお耳、舐められてるから
……ㇿ」

紫

//ダミーヘッド位置・3 耳元で囁く

Yu10215

「えへへ、もっと舐めて欲しいの……？ うふふ、うん……いい
よお……（耳の中舐め音10秒）……」

紫

Yu10216

「パパのお耳の中、美味しい……（耳の中舐め音10秒）……」

紫

//ダミーヘッド位置・3 耳元で囁く

Yu10217

「でも……こっちのお耳は、これでおしまいだよ……？」

紫

//ダミーヘッド位置・3 耳元で囁く

Yu10218

「うふふ……今度はあ……反対のお耳を舐め舐めしちゃうね……
…」

//左耳舐め

//場所を移動している（コンコン）

//ダミーヘッド位置・7 以降、耳元で囁く

紫

Yu10219

「だって片方だけだと、お耳が寂しがっちゃうでしょ……？ だ
から、ちゃんと……（耳にキス音）……舐めてあげたいんだも
ん……」

紫

Yu10220

「（耳にキス音5秒）……不思議だね、パパ……右と左で、お耳の
形がちよっと違うんだよ……？」

紫

Yu10221

「あ、そうだね、自分では見られないもんね……ふふ……（耳
にキス音5秒）……左のお耳の方が、ちよっとカッコイイかも……
…」

紫

Yu10222

「うふふ、（耳にキス音5秒）……パパのどっちのお耳も、大好き
だよ……（耳にキス音）……」

紫

Yu10223
「えへへ……パパだってそうでしょ……？ ママのお胸、右も左も好きだもんね……？ ふふ……」

紫

Yu10224
「じっちのお耳も……形に合わせて、舐めていくね……ゆーっくり、ゆーっくり……」

//タミーヘッド位置・7 耳舐め

紫

Yu10225
「(耳舐め音10秒)」

紫

Yu10226
「お耳の形に添って、舌を動かして…… (耳舐め音10秒) ……んふ……」

//タミーヘッド位置・7 耳元で囁く

紫

Yu10227
「じっちのお耳もどう……？ 舐め舐めされると、気持ち良くなる……？」

紫

Yu10228
「うふふ……じゃあ、もっと気持ちよくなるように舐めちゃうね…… (耳にキス音) ……耳たぶも……はむはむしちゃうね……」

紫

Yu10229
「(耳啜え音5秒) ……ん……このまま、耳たぶを…… (耳たぶしゃぶり音5秒)」

紫

Yu10230
「ふあ……パパのお耳を舐めると、ママも幸せな気持ちになっちゃう……だから、もっと……」

//タミーヘッド位置・7 耳元で囁く

紫

Yu10231
「お耳を……啜えて……ん…… (耳しゃぶり音10秒) ……」

紫

Yu10232
「もっ全部、啜えて……お口の中で……はむ……」

//ダミーヘッド位置・7 耳を啜えてしゃぶる

紫

Yu10233
「（耳しゃぶり音10秒）」

紫

Yu10234
「ふぁ……このまま、お耳の中まで……舐めちゃうね……」

//ダミーヘッド位置・7 耳の中舐め

紫

Yu10235
「ふふ……舌を……ぐにぐにって、中に……（耳の中舐め音5秒）
……ちゅばぁ……」

//ダミーヘッド位置・7 耳元で囁く

紫

Yu10236
「お耳の穴を、舌でほじほじされると……感じるの？ 興奮し
ちゃう……？」

紫

Yu10237
「ほら、」うして……（耳の中舐め音10秒）……」

//ダミーヘッド位置・7 耳元で囁く

紫

Yu10238
「えへへ……興奮してるよね……？ だって、パパのおちんちん
……もっとおっきくなってるもん……ふふ……」

紫

Yu10239
「だから、もっとしてあげるの……（耳の中舐め音10秒）……ん
ふう……」

//ダミーヘッド位置・7 耳元で囁く

紫

Yu10240
「パパは、お耳も気持ちいいんだよね……だって、こうして……
（耳にキス音）……お耳にキスするだけで、ビクビクっして
るんだもん……」

紫

Yu10241
「穴の中は……（耳の中舐め音10秒）もっと敏感なんだよね……
パパ……気持ち良さそうな声、もっと聞かせて……」

紫

Yu10242
「（耳の中舐め音10秒）……ちゅぱあ……」

//ダミーヘッド位置・7 耳元で囁く

紫

Yu10243
「お耳を舐められて、おちんちん硬くしてるパパって……可愛い
……ふふ……」

紫

Yu10244
「パパのお耳は、ぜんぶ美味しいよ……（耳しゃぶり音10秒）…
…それに、敏感で……（耳にキス音）……可愛いもん……」

紫

Yu10245
「もっといっぱい舐めたいの……（耳の中舐め音10秒）……ん
ふう……気持ちいい……？」

//ダミーヘッド位置・7 耳元で囁く

紫

Yu10246
「お耳で、もっと感じて……パパ……（耳にキス音）……隅々ま
で、舐め舐めしてあげるから……」

紫

Yu10247
「（耳の中舐め音10秒）……あふ……お耳の中も……耳たぶも、
耳の裏まで……ぜんぶ舐めちゃった……」

紫

Yu10248
「ちゅぱあ……は……は……は……パパのお耳、美味しかったあ…
…あふ……」

//ダミーヘッド位置・7 耳元で囁く

紫

Yu10249
「また、いっぱい舐めさせてね……パパ……（耳にキス音）…
…」

//終了

//
//06. 授乳手コキ

//※ダミーヘッド位置指定は直前のものに準じます

//SE:ヘッドの軋む音

//ダミーヘッド位置・9 ヘッドに上がる

Yu10250
「ふいしょ……うふふ……パパ……」

//ダミーヘッド位置・1

Yu10251
「えへへ……パパのお膝の上に座っちゃった……こうしたら、お顔が近くで見れるよね」

//ダミーヘッド位置・1 目の前で囁く

Yu10252
「それに、ぎゅってできちゃうんだよ……ほら、(SE:衣擦れの音)ぎゅーって……パパの背中、大きくて手が届かないね……うふふ」

//ダミーヘッド位置・3 耳元で囁く

Yu10253
「二人で一緒に、ぎゅーって……しようね……パパ」

Yu10254
「うふふ……パパの方が力が強いね……私の体、ぎゅーってされちゃってる……パパの腕の中にすっぽりと入っちゃってるんだもん……」

//SE:衣擦れの音

//ダミーヘッド位置・1

Yu10255
「あん……もー……パパがぎゅってしたのは、ママの胸にお顔をすりすりしたかったからなの……?」

//ダミーヘッド位置・1 目の前で囁く

紫

Yu10256
「えへへ……いいよ……パパの好きなように、ママの胸にすりすりして……好きなだけしていいよ……」

//SE:衣擦れの音

//ダミーヘッド位置・1 少し感じる

紫

Yu10257
「あふ……そんなに強く、すりすりされると……ママ……あん……」

//ダミーヘッド位置・7 耳元で囁く

紫

Yu10258
「もー、そんなにママのおっぱいが欲しいの……？ ちょっと恥ずかしいけど、でも……パパが欲しいなら……」

//上を脱いで裸になる（衣擦れ音）

//ダミーヘッド位置・1

紫

Yu10259
「んしょ……（キス音）……えへへ……パパ……いっぱい甘えてね……」

//ダミーヘッド位置・1 感じつつ、嬉しそうに

紫

Yu10260
「あんっ……いきなり吸い付くなんてえ……ふふ……そんなにママのおっぱいが恋しかったの……？」

//ダミーヘッド位置・3 耳元で囁く

紫

Yu10261
「いー……っぱい、吸っていいんだよ……だって、ママのおっぱいは、パパだけのものなんだから……」

紫

Yu10262
「ふふ……ちゅっ、ちゅって、一生懸命に吸ってる……あ、あん……可愛いね、パパ……あふ……」

紫

Yu10263
「可愛い赤ちゃんみたいだね……くふ……本当に可愛いのもっと強く、ぎゅってしたくなっちゃう……」

紫

//ダミーヘッド位置・1 少し残念そう

Yu10264

「でも、ごめんね……パパ……ママのおっぱい、まだミルクが出なくって……ん……くふう……」

//ダミーヘッド位置・3 耳元で囁く

紫

Yu10265

「パパがもっと吸ってくれたら……んっ……ひよつとしたら、ミルク出たりするのかも……」

//ダミーヘッド位置・1 感じて身悶える

紫

Yu10266

「んんっ……そんなに強く吸われると、ママ……ああっ……！
パパにおっぱい吸われて、感じちゃうっ……！」

//ダミーヘッド位置・1 喘ぎ混じりに

紫

Yu10267

「ママの乳首好きなの？ んんっ……夢中になって、吸い付いてるの……ああっ……！」

紫

Yu10268

「あふう……いいよ、もっと吸って……パパの好きなだけ吸っていいよ……んんっ……！」

//ダミーヘッド位置・1 照れつつ喜ぶ

紫

Yu10269

「あ……あん……パパのおちんちん、おっきくなってきてる……
ママのお尻に当たってるよ……？」

//ダミーヘッド位置・3 耳元で囁く

紫

Yu10270

「ママのおっぱいで興奮して……大きくなっちゃった……？ うふふ……嬉しい……すごく硬くなってるね……」

//ダミーヘッド位置・3 耳元で囁く

紫

Yu10271

「おっぱいを吸うだけじゃなくて……おちんちんも、気持ち良くなりたーいよね……？」

紫

//ダミーヘッド位置・1 ペニスを露出させる

Yu10272

「それに、このままだと窮屈そうな……待ってて、楽にしてあげるから…… (SE:衣擦れの音) ……パパ、これで楽になった？」

//ダミーヘッド位置・1 嬉しそうに

Yu10273

「わぁ……本当に硬い……パパのおちんちん、しっかり上を向いて反り返ってる……」

//ダミーヘッド位置・7 耳元で囁く

Yu10274

「待っててね、すぐに気持ち良くしてあげるから……ママが、パパのおちんちんを気持ちよく幸せにしてあげるね……」

Yu10275

「はふうー……もう先っぽからエッチなお汁が垂れちゃってる……これを……こう、塗り拡げて…… (SE:ぬちゃぬちゃ音)」

//SE:手コキ音 (ゆっくり)

//ダミーヘッド位置・7 耳元で囁く

Yu10276

「最初は、ゆっくりと……ね？ 指を、こうして……絡めて、動かして……しこしこ……しこしこって、扱いてあげるの……」

//ダミーヘッド位置・7 喘ぎ混じり

Yu10277

「気持ちいい……？ んっ……ママも、気持ちいいの……だつて、パパが……舌で、乳首を……くにくにつて、してくるか
らぁ……」

//ダミーヘッド位置・3 耳元で囁く

Yu10278

「パパは、そのまま……んっ……ママのおっぱい、吸ってて……おちんちんのことば、ママに任せてね……」

//ダミーヘッド位置・1

紫

Yu10279
「んーっと……お汁を塗り付けて、指のお腹で……んん……裏側の筋を、こうやって擦ると……ほら、気持ちいいよね……？」

//ダミーヘッド位置・3 耳元で囁く

紫

Yu10280
「パパのおちんちん、熱くて、もっと硬くなってきちゃった……うふふ……すごく張り詰めちゃってる……」

//ダミーヘッド位置・3 耳元で囁く

紫

Yu10281
「熱々の精子が、いっぱい溜っちゃってるのかな……？ じゃあ、早く……びゅっ、びゅって出さないかね……くふ……」

//ダミーヘッド位置・1

紫

Yu10282
「もっと強くする……？ しっかり握って……んん……思い切り強く扱くね……？」

//SE:手コキ音（中）

//ダミーヘッド位置・3 耳元で囁く

紫

Yu10283
「あんっ……ママの手の中で、おちんちんが震えてるの……気持ち良い？ 感じちゃってる？ もっと強くするの……！」

//ダミーヘッド位置・1 夢中になって扱く

紫

Yu10284
「ママのことはいいから、パパはもっと気持ち良くなって……！ もっと強く、おちんちんシコシコしてあげるの……！」

//SE:手コキ音（強く）

紫

Yu10285
「ああっ……すごいよ、パパ……！ おっきなおちんちんが、もっとおっきくなって……！ ママの手じゃ足りないくらい……！」

紫

Yu10286
「ぬるぬるのお汁も、どんどん溢れてくるのっ……んんっ……！
いっぱい感じて、パパ……！」

紫

Yu10287
「はぁ、はぁ……もう出そう？ 白くてねばねばしたの、いっぱ
い出ちやいそう？ んんっ……！」

//タミーヘッド位置・1

紫

Yu10288
「いっよ、出してっ……！ ママの手の中で、びゅっ、びゅっ
て、いっぱい射精して欲しいのっ……！」

紫

Yu10289
「思い切り出してね、パパ……！ ママが扱いてあげるから、
いっぱい精子だして……！」

紫

Yu10290
「いつでもいいのっ……！ パパの射精は、ママが受け止めちゃ
うの……！ 最後までしっかり扱いてあげるから……！」

//SE：射精音

//タミーヘッド位置・1

紫

Yu10291
「んんっ！ おちんちんがビクビクって跳ねてるっ……暴れ
ちゃってる……！ ああっ……！」

紫

Yu10292
「熱い精子がいっぱいっ……どびゅどびゅって溢れてるっ……白
くてネバネバしたのが、こんなに……！」

//タミーヘッド位置・1 うっとりと

紫

Yu10293
「はー……はー……すごいね、パパ……ほら見て、こんなにいっ
ぱい出たんだよ……？」

紫

Yu10294
「ねばねばして、すっごく濃いの……匂いだけで、妊娠しちやい
そうだもん……うふふ……いっぱいだね……」

紫

Yu10295
「パパはいっぱい精子出して、スッキリできた……？ うふふ、
ママも嬉しいなあ……」

//ダミーヘッド位置・3 耳元で囁く

紫

Yu10296
「こんなにしてくれて、ありがとう……お疲れさま、パパ……
よしよし……」

紫

Yu10297
「うふふ、だって……ママのおっぱいに甘えてくるパパ、本当に
可愛かったんだもん……」

紫

Yu10298
「このままずーっと、おっぱい吸わせてあげたいなって……思っ
ちゃった……」

//ダミーヘッド位置・7 耳元で囁く

紫

Yu10299
「また、ママのおっぱいに……いっぱい甘えてね……（キス
音）」

//終了

//-----

//07. SEX

//-----

//※ダミーヘッド位置指定は直前のものに準じます

//SE:ベッドが軋む音（ギシ……）

//ダミーヘッド位置・7

紫

Yu10300
「ねえ、パパ……今日はもう寝ちゃった……？ ん？ まだ眠た
くない……？ 良かったあ……」

//ダミーヘッド位置・1

「えへへ……えっとね、お願いがあるんだけど……」

//ダミーヘッド位置・7 発情したように耳元で囁く

紫

Yu10301
「エッチ……したいなって、そう思ってたの……今日はパパと、
もっとラブラブしたいなって……ダメ？」

//ダミーヘッド位置・㊦ 耳元で囁く

紫

Yu10302
「いいの？ うふふ、ありがとう、パパ……大好き……（頬にキ
ス）……」

//ダミーヘッド位置・㊦ 耳元で囁く

紫

Yu10303
「パパとママは夫婦なんだから、いっぱい……好きなだけ愛し
合っていていいんだもん……（耳にキス）……」

//ダミーヘッド位置・㊦ 唇へのキスを挟みながら

紫

Yu10304
「パパがね、お仕事してる間……（キス音）……ずっと、パパの
ことばかり……（キス音）……考えてたんだよ……」

//ダミーヘッド位置・㊦ 唇へのキスを挟みながら

紫

Yu10305
「エッチなことも……（キス音）……ちょっとだけ、考えてたか
も……（キス音）……え？ パパもそうなの？ えへへ……う
れしい……」

//ダミーヘッド位置・㊦ ディープキスへ

紫

Yu10306
「パパあ……（ディープキス10秒）……」

//ダミーヘッド位置・㊦ ディープキス

紫

Yu10307
「もっと舌、強く絡ませて……ん……（ディープキス5秒）……」

紫

Yu10308
「パパとキスしていると、唇も舌もとろけてきちゃうの……（デ
ィープキス5秒）……」

紫

Yu10309
「気持ちよくって、頭がボーっとしてきちゃう……あふ……パ
パあ……」

//ダミーヘッド位置・3 耳元で囁く

紫

Yu10310
「大好き……（耳にキス音5秒）……うふふ……お耳が熱くなって
る……」

//ダミーヘッド位置・3 耳元で囁く

紫

Yu10311
「また、お耳の中まで、くちゆくちゆしちゃうの……（耳の中舐
め5秒）……あふう……」

紫

Yu10312
「お耳を舐めると、パパの体がビクビクってなるの……好き……
ふふ……」

//ダミーヘッド位置・4 首筋へキス

紫

Yu10313
「じゃあ、これはどう……？ （首にキス音5秒）……首にキスさ
れるの、気持ちいい……？ パパの首筋とか……鎖骨とか、好
き……」

//ダミーヘッド位置・4 首筋へキス

紫

Yu10314
「（首にキス音5秒）……（首筋舐め音）……耳だけじゃなくて、
首も……鎖骨も、ベトベトになっちゃったの……」

//ダミーヘッド位置・3 耳元で囁く

紫

Yu10315
「あ……パパ……おちんちんが硬くなってるね……ママの脚に
当たってるの、分かるよ……？」

//ダミーヘッド位置・3 耳元で囁く

紫

Yu10316
「こんなに元気にして、パパも同じ気持ちだったの……？ ママ
とエッチしたいって、思ってた……？」

紫

//ダミーヘッド位置・1

Yu10317

「ちよつと待ってて、先に服を脱いじゃうね……？ パパはそのまま……ママが脱がしてあげるから……（SE:服を脱ぐ衣擦れ音）」

//ダミーヘッド位置・9

Yu10318

「えへへ……先に裸になっちゃった……次はパパの番だよ……」

//ダミーヘッド位置・9

Yu10319

「パパ……脱がせてあげる……まずはシャツを……（SE:服を脱がせる衣擦れ音）……んしょ……」

//ダミーヘッド位置・1 足元の方から

Yu10320

「それから……ココも窮屈だよ……ズボンと、パンツも……（SE:脱がせる衣擦れ音）……うふふ、飛び出してきちゃった……おちんちん……」

Yu10321

「えへへ……元気だね……つんつん……うふふ、ビクビクってして、かわいい……」

//ダミーヘッド位置・1 フェラ中（足元の方から）

Yu10322

「じゃあ……最初は、お口で気持ち良くしてあげるね……（キス音）……」

Yu10323

「根元の方を、指で……シコシコしながら……（キス音5秒）……パンパンに膨らんだ先っぽに、いっぱいキスしちゃうの……（キス音5秒）」

紫

Yu10324
「(キス音5秒) ……ふふ……おちんちん、もっと硬くなってきた
…… (キス音5秒) ……あふ……ねばねばのお汁も、出てきたよ
……パパ……」

//興奮した様子で

紫

Yu10325
「はあはあ……こんなに元気だと、おしゃぶりしてきたくなっ
ちゃった……パパも啜えて欲しい……？」

紫

Yu10326
「そつなんだあ……えへへ……それじゃ……いただきまーす…
…」

//ダミーヘッド位置・一 フェラ中、啜え

紫

Yu10327
「はむ……んん…… (ゆっくりとしゃぶる音10秒) ……」

//啜えたままで

紫

Yu10328
「美味しい……パパのおちんちん、すごくエッチな味がしてるの
…… (ゆっくりとしゃぶる音10秒) ……」

//ダミーヘッド位置・一 フェラ中、喘ぎ混じり

紫

Yu10329
「あふ……パパの匂いと味で、私も興奮してきちゃった……んん
…… (フェラ音5秒) ……わたしも、自分でしちゃうね……ふあ
……」

//SE:紫の自慰をしている水音

紫

Yu10330
「(フェラ音10秒)」

//ダミーヘッド位置・一 フェラ混じりに喘ぐ

紫

Yu10331
「ちゅう……あふ……うん、自分でしてるの……パパがしてくれ
るみたいに……んんっ……」

//ダミーヘッド位置・一 フェラ中、喘ぎ混じり

紫

Yu10332
「(激しいフェラ音10秒) ……ふはあっ……ああっ……パパっ……」

//ダミーヘッド位置・1 フェラ中、喘ぎ混じり

紫

Yu10333
「おちんちん、美味しいのっ……はむっ……(激しいフェラ音10秒) ……」

//ダミーヘッド位置・1 フェラ中、喘ぎ混じり

紫

Yu10334
「お口の中で、どんどん硬くなって……(フェラ音5秒) ……エッ
ちなお汁も、いっぱい……んぶ……」

//ダミーヘッド位置・1 フェラ中

紫

Yu10335
「(激しいフェラ音10秒) ……ふはあっ……」

//紫の自慰をしている水音ストップ

//ダミーヘッド位置・1 「お願い」から7へ移動、耳元で囁く

紫

Yu10336
「はあ、はあ……パパあ……もう我慢できないの……お願い、お
ちんちん……入れてえ……」

//ダミーヘッド位置・1 耳元で囁く

紫

Yu10337
「自分でしてたから、もうぐしょぐしょだよ……すぐにおちんち
ん挿れられるの……だから、お願い……パパあ……」

//ダミーヘッド位置・1

紫

Yu10338
「自分で脚を抱えて、仰向けになればいいの……？ うん、パパ
のお顔を見ながらの方がうれしいから、いいよ……」

//体勢を変えている(ゴソゴソと)

//ダミーヘッド位置・6 やや下方

紫

Yu10339 「んしょ……これでいいの……？ うう……ママのエッチなとこ、全部見えちゃってる……？」

紫

Yu10340 「あんっ……顔を近付けて……そんなに近くで見られたら、恥ずかしいよう……うう……だって、もういっぱい濡れちゃってるもん……」

紫

Yu10341 「はあはあ……もつと拡げて見せるの……？ あうう……自分の指で、こうして……（開く水音）ん……これで、いい……？」

紫

Yu10342 「うう………ぜんぶ見えちゃってるよお……」
//羞恥で興奮しつつ

紫

Yu10343 「はあ、はあ……おちんちんが欲しくなってる、エッチなおまんこも………ぜんぶ、丸見えなの……」

紫

Yu10344 「はあ、はあ……うん、奥までしっかり濡れてるよ……」
//タミーヘッド位置・9 恥ずかしそうに

紫

Yu10345 「うう、だって……パパのを、おしゃぶりしながら……自分で、この指で……おなにーしてたんだもん……」

紫

Yu10346 「はうう……お願い、パパ……早く来て……もう、おちんちん欲しいよお……」

紫

//クンニされて喘ぐ
Yu10347 「あん、あっあっ……舐められてる……んんっ……パパの舌が、ワンちゃんみたいに……あんっ……ペロペロって……くうん………」

紫

Yu10348 「ああんっ……お、おっぱいまで、揉まれてっ……そんなにしちゃダメなのっ……あっあっ……パパぁ……！」

紫

Yu10349 「ク、クリトリス、吸われちゃってるのっ……あああっ……！ちゅっ、ちゅって、いっぱい吸われて、ひああっ……！」

紫

Yu10350 「そこは感じ過ぎちゃうよお……！ あっあっ……！ 吸われすぎて、腰が震えちゃううっ……！」

紫

Yu10351 「んんうっ……！ は、入ってきちゃうっ……指が……パパのおっきな指がっ……ママのおまんこに……！」

//SE:くちゅ音（紫がイクまで）

紫

Yu10352 「（あえぎ20秒）」

紫

Yu10353 「な、舐めながら、指で、そんなっ……！ ああっ……か、感じるっ……パパぁ……！」

紫

Yu10354 「気持ちいいところ、指で擦られてるのっ……！ ああんっ！も、もっど……くうん……！」

紫

Yu10355 「（あえぎ20秒）」

紫

Yu10356 「ああん、もうダメなのっ……！ あっあっ……！ 指でくちゅくちゅされて、もうイッちゃうのお……！」

紫

Yu10357 「あああっ！ イクっ、イクっ！ んんん——————っ……！」

紫

Yu10358
「(荒い吐息10秒)」

紫

Yu10359
「はぁっ、はぁっ……イカされちゃったよお……パパの舌と指で、我慢出来なくなつて……イッちゃったのお……」

紫

Yu10360
「はー……はー……じらさないでよお……もう我慢できないよ……お願い、おちんちん欲しいの……ぐしよぐしよになっちゃった、ママのおまんこに挿れてえ……」

// 体勢を変えている(ゴソゴソと)

// ダミーヘッド位置・1

紫

Yu10361
「はぁ、はぁ……いいもん……パパがしてくれないなら、自分で挿れちゃうから……ん……」

// 騎乗位で体を起こしている位置関係

// ダミーヘッド位置・9

紫

Yu10362
「じつやって、わたしが上になって……自分で挿れちゃうから………パパは見てて……」

// ダミーヘッド位置・9

紫

Yu10363
「ほら、見て……パンパンになってる先っぽが、入り口に当たてるの……んん……」

紫

Yu10364
「このまま挿れちゃうよ……んんっ……(挿入音) 入り口が、硬いので拡げられてるのっ……おちんちん、入ってきてるっ……」

紫

Yu10365
「すぶずぶって、なか拡げられて……んくっ……あぁっ、パパのおっきいっ……! どんどん入ってきちゃうっ……!」

紫

Yu10366
「入るっ、入っちゃうよっ……………！ ああっ、パパ……………！ おちん
ちんが、入ってきてるのっ……………！ あああっ……………！」

//ダミーヘッド位置・1 少し顔を近付けて

紫

Yu10367
「はあ、はあ……………すごいよ、パパ……………見て、ぜんぶ入っちゃった
の……………あふ……………」

//ダミーヘッド位置・3 耳元で囁く

紫

Yu10368
「ママの中はどう……………？ いっぱい濡れてるよね……………あったかく
て、気持ちいい……………？」

//ダミーヘッド位置・3 耳元で囁く

紫

Yu10369
「パパの気持ちいいよ……………だから一緒に、もっと気持ち良く
なっちゃおうね、パパ……………」

//ダミーヘッド位置・9

紫

Yu10370
「んん……………最初は、ゆっくり……………んっ……………動く、ね……………」

//SE:抽送音

紫

Yu10371
「じうして、腰を……………んん……………前後に、くねらせると……………あんっ
……………中で、気持ちいいところ……………擦れるのお……………」

Yu10372

「それから力を入れて……………腰を回すみたいに……………くふっ……………おち
んちんで、掻き混ぜられてるたいなの……………ああっ……………！」

//ダミーヘッド位置・1 目の前で囁く

紫

Yu10373
「はあ、はあ……………パパのおちんちん、おっきいから……………あんまり
激しく動けないよ……………でも……………んんっ……………」

//ダミーヘッド位置・3 耳元で囁く

紫

Yu10374
「気持ち良いところに当るから、頑張って動いちゃうの……んっ
んっ………！ 気持ちいいよ、パパあ………」

//ダミーヘッド位置・1

紫

Yu10375
「腰を弾ませると、んんっ……奥まで届くよっ……あんっ………！
ちゅぷ、ちゅぷって、エッチな音、しちゃってる………」

//ダミーヘッド位置・7 耳元で囁く

紫

Yu10376
「あ、あん、腰が止まらないよお、パパっ………！ ぐしょ濡れの
おまんこで、おちんちんが気持ちのいい所に当たってすくく
いよお………」

//ダミーヘッド位置・1 喘ぎ混じりに

紫

Yu10377
「あん……はあはあ、気持ちいいっ……気持ちいいの、パパあ…
…… 感じるどころ、ぜんぶ擦れてるうっ………」

//ダミーヘッド位置・1

紫

Yu10378
「（大きめの喘ぎ10秒）」

紫

Yu10379
「んんっ………！ はあっ、はあっ、はあっ………！ すごくいよお…
………」

//抽送音ストップ

//ダミーヘッド位置・6 戸惑いつつ

紫

Yu10380
「んんっ……いきなりどうしたの、パパ……？ ママの腰を押え
て、動かないようにって………」

//対面座位へと体勢を変えている（ゴソゴソと）

//ダミーヘッド位置・1

紫

Yu10381「あんっ……はあ、はあ……体を起こして、今度はパパが上になるの……？　パパがしてくれるんだよね……？」

//タミーヘッド位置・1　目の前で囁く

紫

Yu10382「うん、して……もうトロトロになってる、ママのエッチなおまんこ……熱いおちんちんで、ズボズボして……」

//SE:抽送音

//タミーヘッド位置・9　少し下側から

紫

Yu10383「ああんっ、すい……！　パパの腰使いの方が、もっと激しいの……！」

紫

Yu10384「くうんっ！　ずんずんきてるのお……！　あっあっ！　奥っ、いちばん深いところに、おちんちん当たってるう……！」

紫

Yu10385「気持ち良すぎて、どんどん締め付けちゃうのお……！　あ
あっ！　パパも感じてっ、ママの中で気持ち良くなってえ……！」

紫

Yu10386「ああんっ、すい……！　いちばん深いところ、ずんずんってノックされてるよっ……！」

紫

Yu10387「そこっ……ああっ！　あ、赤ちゃんのお部屋なの……！　入り口、トントンってされると、幸せになっちゃうう……！」

紫

Yu10388「あああっ！　おちんちんで幸せになっちゃうのお……！　あっあっ！　気持ちいいっ、気持ちいいよお……！」

紫

Yu10389「パパのがみっちり埋め尽くして、子宮が引っ張り出されちゃうっ！　いっぱい、いっぱいなお……！」

紫

Yu10390
「(激しい喘ぎ10秒)」

紫

Yu10391
「あああ……！ パパあ！ おっぱいも、おっぱいも揉んで……揉みながらずんずんしてえ……！」

紫

Yu10392
「ふあああ！ それ好きい！ ああんっ！ 乳首を摘ままれながら、子宮の入り口を擦り上げられちゃってるよおお……！」

紫

Yu10393
「すこいよお！ お腹の中、ゴリゴリって削られてるう！ もう無理だよお、パパ……！ ママもう限界なのお……！」

紫

Yu10394
「ああああっ！ もうイク！ イクのっ！ ああんっ！ イッちゃうっ、パパのおちんちんで掻き混ぜられて、イッちゃうっ！」

//ダミーヘッド位置・1 目の前で囁く

紫

Yu10395
「お願い、一緒に、一緒にイッて……！ パパの射精で、ママのことイかせてえ……！」

紫

Yu10396
「このままっ、このまま中に出してっ……！ パパの赤ちゃん欲しいのっ……！」

紫

Yu10397
「ちゃんと赤ちゃん、妊娠できるように、子宮にいっぱい注いでえっ……！ あああっ……！」

紫

Yu10398
「パパにどぴゅどぴゅって射精されながらイクのっ！ あっあっ！ イッちゃうよお……！」

紫

Yu10399
「ああんっ！ パパっ！ パパあっ！ あっあっあっ！ イクっ！ イクっ！ イクううう！」

//SE:射精音

//ダミーヘッド位置・1

Yu10400
「あああああ——————っ……！」

Yu10401
「出てるっ、出てるの！ おちんちんがビクビクって、震えてるっ、熱いのいっぱい出てるう……！」

Yu10402
「んんっ……！ 子宮に流れ込んでるよっ……！ パパの熱くて濃い精子が、卵子に殺到してるのお……！」

Yu10403
「（荒い呼吸音10秒）」

//SE:紫の上に倒れ込む音

//ダミーヘッド位置・1

Yu10404
「んっ……ふあああ……は……は……パパ……大丈夫？ うふふ……わたしは大丈夫だよ、重くないもん……」

Yu10405
「は……は……パパあ……（キス音5秒）……いっぱい出してくれて、ありがとう……とってもうれしい……」

//ダミーヘッド位置・3 耳元で囁く

Yu10406
「お腹の中、パパの精子でいっぱいになってるの……赤ちゃんできてるといいなあ……？」

//ダミーヘッド位置・1

Yu10407
「んふう……うん、すごく気持ち良かったよ……感じ過ぎちゃって、頭の中が真っ白になっちゃったの……」

//ダミーヘッド位置・3 耳元で囁く

紫

Yu10408
「パパのおちんちんがいけないんだよ……わたしのこと、こんなにエッチにしちゃったんだから……うふふ……」

//ダミーヘッド位置・1

紫

Yu10409
「本当にありがとう、パパ……（キス音5秒）……」

//ダミーヘッド位置・1 目の前で囁く

紫

Yu10410
「はー……はー……あん……まだ動いちゃダメ……抜いちゃうのもイヤなの……だって、こぼれちゃうんだもん……」

//ダミーヘッド位置・7 耳元で囁く

紫

Yu10411
「パパが出てくれた、熱々の精子……こぼれちゃったら、勿体ないもん……全部、まだ中に入ったままがいいの……」

//ダミーヘッド位置・7 耳元で囁く

紫

Yu10412
「だから、このままぎゅーって……ママのこと、抱き締めて……パパ……」

//ダミーヘッド位置・1 キス

紫

Yu10413
「うふふ……すぐ気持ち良かったよ、パパ……（キス音）……いっぱい、いっぱい……イッちゃったもん……（キス音）……」

//ダミーヘッド位置・1 ディープキス

紫

Yu10414
「（ディープキス10秒）……ちゅばあ……」

//ダミーヘッド位置・3 耳元で囁く

紫

Yu10415
「んふ……パパ……大好きだよ……（キス音）……」

//終了

//08. 添い寝

//-----

//※ダミーヘッド位置指定は直前のものに準じます

//SE:シーツの衣擦れの音

//ダミーヘッド位置・3 小声で問いかけるように

Yu10416
「パ。パ……？ まだ起きてる……？ もう寝ちゃった……？」

//ダミーヘッド位置・3 後半は照れながら

Yu10417
「あ、ごめんね……もう眠かったよね……えっと、今日はいっぱい愛してくれてありがとう……」

Yu10418
「えへへ……すっごくうれしかったの……パパのこと、いっぱい感じられたし……だから、ちゃんと言っておきたくて……」

Yu10419
「パパもうれしかったの？ うふふ、一緒だね……また、わたしのこといっぱい愛してね……？」

//ダミーヘッド位置・3 耳元で囁く、少し眠そうに

Yu10420
「ん……でも、ちょっと疲れちゃったね……パパのこと……ぎゅってしていい……？」

//SE:シーツの衣擦れの音

Yu10421
「えへへ……ありがとう……ぎゅ……パパの体って、おっきいね……」

Yu10422
「パ。パ……もっときゅってして……いい……？ もっと強く……ぎゅ……」

//ダミーヘッド位置・3 以降、全て耳元で囁く

Yu10423
「パ。パ、ぎゅってしていると……すっごく安心するの……」

紫

Yu10424
「パパの方が……体温が高いのかな……？　くつついてると、
あったかくて……気持ちいいよ……」

紫

Yu10425
「えへへ……なんだか……幸せだね、パパ……大好きだよ……パ
パも一緒なの……？　うれしい……」

紫

Yu10426
「ずっとうしてたいなあ……パパのこと、ぎゅーってして……
となりで寝るの……」

紫

Yu10427
「あ……パパ……背中、撫でてくれるの……？　ありがとう……
パパの手は優しいね……」

紫

Yu10428
「うふふ……おっきなあくびだね、パパ……もう寝ちゃう……？
」「苦労様……じゃあ、一緒に寝ようね……」

紫

Yu10429
「うん……うふふ……このまま、ぎゅってしたままで……寝るの
……朝まで、ずっと一緒なの……パパ……」

//ダミーヘッド位置・3 耳元で囁く、かなり眠そうに

紫

Yu10430
「（小さくあくび）……ママもね、ねむたく……なって、き
ちゃったかも……」

紫

Yu10431
「んー……（小さくあくび）……パパも、きょうは……つかれ
ちゃった、ね……」

紫

Yu10432
「もうパパ……ねむねむ……だよね……（小さくあくび）……も
う……目が閉じちゃう……おやすみ、なさい……パパ……」

紫

Yu10433
「あしたも……がんばろー……ね……」

紫

//ダミーヘッド位置・3 寝息

Yu10434

「すー……すー……すー……すー……」

紫

Yu10435

「すー……すー……むにゃ……パパ……すー……すー……」

//終了

//

//09. 自己紹介

//

//※ダミーヘッド位置指定は直前のものに準じます

//ダミーヘッド位置・9

紫

Yu10436

「えっ？ 自己紹介？ 記念に録音しておきたい？ あうう……もー、しょうがないなあ……」

紫

Yu10437

「えーっと……楠木紫だよ……えっと、家が神社なので……巫女をしてるの……」

紫

Yu10438

「ううう……あらためて自己紹介ってはずかしいね……」

紫

Yu10439

「えっと……実家は、稲黍神社っていいです。神主だったお爺ちゃんが亡くなってから、私が神社を切り盛りしてるの」

紫

Yu10440

「お父さんは普通の仕事をしてて、いまは転勤で遠くに行ってるの……お母さんもそう。でも寂しくないよ？」

紫

Yu10441

「えへへ……だって、あなたに逢えたんだもん」

紫

Yu10442

「それから……えっと、えっと……あ、趣味は可愛いお洋服の本を読んだり……お菓子を作ったりすることかな……」

紫

Yu10443
「あとは、お掃除するのも好き……えへへ……だって、綺麗になつてると、すごく気分もよくなるんだもん」

紫

Yu10444
「あとは何だろう……んー……え！　ス、スリーサイズ！？　そ、そういうのは秘密だよお……！」

紫

Yu10445
「うう……あとは……身長がもっと欲しいかな……」

紫

Yu10446
「身長が小さいのは……ずっとコンプレックスで、大きくなりたいて……思ってるけど……なかなか伸びないの……」

紫

Yu10447
「牛乳もいっぱい飲んでるし、チーズとかも食べてるのに……あ、それは秘密だった……あう……」

紫

Yu10448
「それから……えっと、あなたに逢えて、わたしとっても幸せだよ……だから、ずっとそばにいてね……」

紫

Yu10449
「うううう……じ、自己紹介は以上で終わりなの……恥ずかしいことも言っちゃった気がするけど……気にしたらダメなんだからね……？」

//終了

//10. 寝息

//※ダミーヘッド位置指定は直前のものに準じます

//右側から

//ダミーヘッド位置・ε

紫

Yu10450
「すー……すー……すー……すー……すー……すー……」

紫

Yu10451 「ん…………す…………す…………むにゃ…………ん…………す…………す…………」

紫

Yu10452 「す…………す…………ん…………ふう…………す…………す…………」

紫

Yu10453 「むにゃむにゃ…………す…………す…………す…………す…………ん…………」

// 左側から

// ダミーヒット位置・7

紫

Yu10454 「ん…………す…………す…………す…………す…………むにゃ、むにゃ…………」

紫

Yu10455 「す…………す…………す…………す…………す…………」

紫

Yu10456 「す…………す…………す…………ん…………す…………す…………」

紫

Yu10457 「す…………す…………す…………す…………ん…………むにゃむにゃ…………す…………す…………」

// 終了